

# 兵庫朝鮮関係研究会・30年を祝いました

『むくげ通信』261号(2013.11.24)

飛田雄一



兵庫朝鮮関係研究会(代表・徐根植)とむくげの会は盟友です。それぞれの記念日にはお祝いをしています。去る11月17日(日)は、兵朝研創立30周年の記念会が六甲苑で開かれました。これは、30周年記念に出版された兵朝研7冊目の本、『在日韓国・朝鮮人の歴史と現在』(明石書店2013.11、2800円)の出版記念会でもありました。写真は、4名著者と兵朝研会員の記念写真です。



その新著は、明石書店のホームページのコピーには、「様々な日本史の転換点のなかで重要な位置をしめてきた兵庫県地域。その歴史の転換点のなかで朝鮮とのつながりも深い。古代の文化交流や支配と被支配の複雑な関係が交錯する近現代の兵庫と朝鮮との関係を解き明かす論稿から兵庫地域の歴史的な位相を再考する」とあります。以下の目次のように多様です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
兵庫市在日コリアン足跡録	兵庫における朝鮮建國国民学校について	兵庫と李奉昌	兵庫と李奉昌	戦前の西宮協和会事業について	在日朝鮮人の日本同化、皇民化運動の軌跡	夙川朝鮮部格立退問題(一九二八年)の考察	「朝鮮人ほど、自由を得たる人民なし」	「韓国併合」前、兵庫における朝鮮人の足跡	古代西宮の渡来人・百濟系「広田述」考
287	267	248	226	183	160	147	132	56	32

兵朝研は、1983.11故金慶海さんの呼びかけによりに発足。合い言葉は、「記録しなければ歴史にならない」。その合い言葉どおりに、右の7冊の本を出して

きた。その他に、会員の金慶海、鄭鴻永、金英達、尹達世、高祐二、徐根植が単著を出しています。会報は、1986.2に1号を発行し、最近号は2013.9の159号です。神戸電鉄と朝鮮人労働者、神戸港強制連行、篠山と朝鮮人などの調査に関わり、兵庫での在日朝鮮人史研究のリーダー的なグループで、その関連の図書も多くされています。

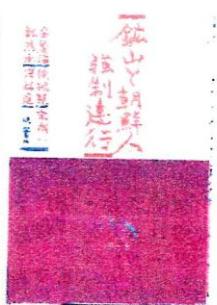
午後5時から始まったパーティ。神戸強制連行調査の会代表でもあった安井三吉先生の乾杯の音頭で始まりました。約40名の参加者がおおいに歌い踊りしゃべり(踊りはなかった?)ました。むくげの会からは堀内が代表してあいさつ、山根がむくげ20周年記念(1992)昭和池・三草山大焼肉宴会での歌・釜山港に帰れ、司会は飛田でした。

パーティの中でDVD上映がありました。たくさんの写真に音楽をあわせた18分。とても素晴らしい作品でした。オーディオに暗いむくげとしてはうらやましいかぎりでした。伝説の昭和池大焼肉の会もできました。

1985年



1987年



1990年



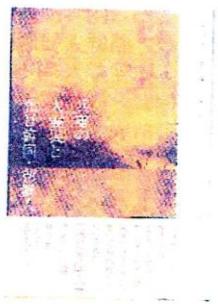
1993年



2003年



2009年



パーティは8時過ぎまで3時間を超えるものでした。兵朝研からみなさんへの感謝をこめてと新著も無料でいただきました。会費の4000円は、安いものでした。ありがとうございました。

兵朝研のみなさま、これからも末永くよろしくお願ひします。お互いに飲みすぎには注意しましょう。